

美術・デザイン 講座

番号	D-01	担当教員	デザイン 安田 祐造 特任教授	対象	高等学校における美術部員	所要時間	2時間～4時間程度
授業題目	美術部員への絵画制作指導					オンライン 対応	不可
授業内容	貴校において、放課後や授業の行われない期間に、1回につき数時間、必要に応じて複数回出張指導を行います。高文連主催の展覧会やその他の公募展などを目指して制作される方々を応援いたします。制作開始前の構想段階が大変重要かと思っておりますので、その時期と制作が軌道に乗ったころにお声をお掛けください。						
授業のねらい (対象とする生徒)	美術を専門とする教師が居られない高等学校における美術部員を対象とした絵画制作指導			授業形式	実技、ゼミナール		
				受講定員	20名		

番号	D-02	担当教員	デザイン 西田 陽二 特任教授	対象	高等学校における美術部員	所要時間	2時間～4時間程度
授業題目	美術部員への絵画制作指導					オンライン 対応	応相談
授業内容	放課後や授業の行われない期間に、1回につき2時間～4時間程度、必要に応じて3、4回出張指導を行います。高文連主催の展覧会や道展U21などを目指して制作される方々を応援いたします。(特に人物画の表現の指導を希望する場合。)						
授業のねらい (対象とする生徒)	美術を専門とする教師が居られない高等学校における美術部員を対象とした絵画制作指導			授業形式	実技、ゼミナール		
				受講定員	20名		

番号	D-03	担当教員	デザイン 西田 陽二 特任教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	モチーフにより変動
授業題目	デッサン (人物・顔・石膏・静物等)					オンライン 対応	応相談
授業内容	鉛筆や木炭を使用して対象物である人物・石膏像・静物等のモチーフをデッサンします。指導の流れは、個人的に道具の使い方や描く手順などを解説し、直接画面上で仕上げに向かってデッサンの完成を示します。授業として使用出来る時間帯でモチーフを選択します。						
授業のねらい (対象とする生徒)	絵画・立体造形、アニメ等全てに通じる基礎を学びます。			授業形式	実技		
				受講定員	10～25名		

番号	D-04	担当教員	デザイン 林 春生 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	30分～対応可
授業題目	プロダクトデザイン講座 一文房具や日用雑貨、家電製品から各種乗り物など、モノづくりに関わる話をお聞かせします！					オンライン 対応	可
授業内容	私たちの身の回りにある様々な工業製品が、どのように考え作られているかを学びます。プロダクトデザインと世の中との関わり、プロダクトデザインが私たちの日常を豊かにしていくことの喜びを知り、プロダクトデザインを職業として理解し、進路の選択肢として理解できるような講座とします。						
授業のねらい (対象とする生徒)	プロダクトデザインを通して世の中との関わりや人々の生活を良くしていく喜びを知り、自己実現を自覚します。			授業形式	講義と演習		
				受講定員	10名～		

番号	D-05	担当教員	デザイン 北嶋 洋一 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	45～90分
授業題目	クイズで学ぶ！詳しく解説！「意外に知られていないデザインの世界」					オンライン 対応	可
授業内容	デザインやイラストに興味があると言っているながら「デザインって何？」と問われれば首を傾げ、「イラストって何？」と問われれば口を閉じてしまう高校生が大勢います。分野として意外に正しく理解されていないデザインやイラストの発想法や作品制作のノウハウを、身近な課題をテーマにしながら“クイズ形式”で分かりやすく解説します。 ※クイズの解答と採点にスマートフォンやタブレットを使用します。						
授業のねらい (対象とする生徒)	デザインはアートと違って知っているつもりでいるけど実は知らないという人が多い分野です。大学や専門学校に進学してから初めて知る人が半数を占めています。この授業で、デザイナーやイラストレーターの仕事を知ることにより、高校生の皆さんがデザインを進路とすべきか否かを正しく考えるための知識を伝えます。			授業形式	講義		
				受講定員	制限なし		

美術・デザイン 講座

番号	D-06	担当教員	デザイン 北嶋 洋一 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	45分
授業題目	「ぬり絵」で学ぶグラフィックデザインの基本					オンライン 対応	可
授業内容	<p>細かなマスを切った既定のシートを配布し、そこに色鉛筆などの簡易な画材で直感的に配色します。配色によって生じる遠近感や寒暖感、膨張や収縮の効果なども考えながら体験し、具調・抽象いずれの表現にも挑戦できます。</p> <p>※受講者は、各自12色以上の色鉛筆セットを用意して下さい。</p> <p>※オンラインの場合は事前に既定のシートをPDFにてお送りしますので、人数分の画用紙等にプリントしていただく準備をお願いいたします。画用紙は100円ショップなどのモノで十分です。</p>						
授業のねらい (対象とする生徒)	遊びのイメージが強い“ぬり絵”ですが、デザインの重要なエレメント（要素）である“色彩”を、気軽に直感的に学ぶには非常に優れた教材です。色彩の配置によって生まれる様々な表現の世界を体感し、楽しんで欲しいと思います。			授業形式	実技		
				受講定員	40名（クラス単位）		

番号	D-07	担当教員	デザイン 三上 いずみ 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分～対応可
授業題目	学校マスコットキャラクターを作ろう！					オンライン 対応	不可
授業内容	<p>自分の学校の特徴や校風、沿革、環境などからキーワードを書き出し、まずはキャラクターデザインのコンセプトを決めます。また、キーワードからモチーフを選び、自分なりのアレンジをしながら、デザインを固めます。さらにブラッシュアップさせ、形を整えてペン入れし、名前をつけて、出来上がりです。</p>						
授業のねらい (対象とする生徒)	自分の学校について改めて考えてみましょう。			授業形式	実技		
				受講定員	40名（クラス単位）		

番号	D-08	担当教員	デザイン 三上 いずみ 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分～対応可
授業題目	漫画技法体験～つけペン・カケアミ・スクリーン～					オンライン 対応	不可
授業内容	<p>ペン先、ペン軸、黒インク、下描きが描かれた原稿にペン入れ、カケアミ、ベタぬりをし、最後にスクリーンで仕上げます。</p>						
授業のねらい (対象とする生徒)	漫画制作の工程や技法を実際に体験し、どのように漫画が描かれるのか、その裏側を覗いてみましょう。			授業形式	実技		
				受講定員	15名		

番号	D-09	担当教員	デザイン 三上 いずみ 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分～対応可
授業題目	簡単！オープンスクリーン法体験					オンライン 対応	不可
授業内容	<p>新聞紙を好きなデザインで切り抜きます。それを型として生地に貼り付け、シルクスクリーンのアルミ枠を被せます。その上からスキージというゴムペラでインクを通し、捺染します。色は自由、マールもできます。デザインの難易度によって制作時間が変わります。A4サイズのオリジナルバッグができます。</p>						
授業のねらい (対象とする生徒)	自分だけのファブリック作品を制作することで、テキストイルデザインを感じ、生活の中にあふれる意匠に意識を向けましょう。			授業形式	実技		
				受講定員	最大10名		

番号	D-10	担当教員	デザイン 梅田 力 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50～90分
授業題目	彫刻入門					オンライン 対応	不可
授業内容	<p>身近な素材を使って、本格的な彫刻制作を行います。また要望に応じて、様々な彫刻作品の紹介（鑑賞）もします。</p>						
授業のねらい (対象とする生徒)	身近な素材を使って彫刻制作をします。人数、学年、時間により課題を設定します。			授業形式	実技		
				受講定員	20名まで		

美術・デザイン 講座

番号	D-11	担当教員	デザイン 梅田 力 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50～90分
授業題目	芸術留学しよう！					オンライン 対応	可
授業内容	留学にかかる費用から手続き、語学の学習法、入試の形態や、実際の授業様子など、経験をもとに芸術留学の処世術を教えます。希望者には入学試験でもっとも重要な、ポートフォリオへのアドバイスも行います。						
授業のねらい (対象とする生徒)	夢を叶えるために、海外で芸術を学ぶという選択肢もあります。英国への芸術留学経験者が、その準備から実際の授業の様子までわかりやすく解説します。			授業形式	講義・対話		
				受講定員	40名まで		

番号	D-12	担当教員	デザイン 梅田 力 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50～90分
授業題目	アート思考ってなんだろう？					オンライン 対応	応相談
授業内容	現在、特にビジネスの分野で、アーティストが作品制作の際に用いる思考法が活用できるのではないかと大きな注目を浴びています。アーティストは、言うなれば自己探求のプロフェッショナル。自分の興味関心を見つける事、それをなんらかの形で表現する事に様々な工夫を凝らしています。そんなアーティストの作品や、制作過程を知ることが、自らの興味関心を元に様々な探求をしていく参考になるでしょう。もちろん「探究学習」にも使えます。探求学習の導入としてもおすすめの講座です。						
授業のねらい (対象とする生徒)	アーティストが作品制作の際に用いる思考法を学び、創造的に考えるためにはどうすれば良いかを考えます。「探究学習」の導入としてもおすすめです。			授業形式	講義・演習		
				受講定員	40名まで		